



## 設定

ノンケ陸上部コーチ × マッサージ師兼宗教団体代表

マッサージ師による音、映像、香りによる洗脳マッサージから始まり、宗教団体が使っている、人に快感を呼び起こし、依存させる銀粉でさらに追い詰めていくお話『セイの選択』の番外編です。

1～2では部員の篠原拓を主人公としていましたが、番外編ではコーチの佐藤翼を主人公としています。

番外編は銀粉塗布シーンはほぼなく、その代わりに SM、鬼畜的な要素多めです。

### 登場人物

本堂 正一(ほんどう しょういち) 48 歳 マッサージ師兼宗教団体代表  
穏やかそうに見えるが実際は残酷。粘着気質。聖銀主と呼ばれている。

佐藤 翼(さとう つばさ) 30 歳 陸上部コーチ

指導の際は厳しいが、それ以外はとても気さく。本編では学生から慕われていたがコーチ職を辞め、本堂の宗教団体に入信。拓に本堂を紹介した。

飯塚 雪(いいづか ゆき) 28 歳

翼の婚約者。※雪の父は本文で「飯塚」としています。

富岡 陸(とみおか りく) 20 歳 3 年 陸上部部員

拓と尊の後輩。資産家の息子。先輩にはいい顔をして、後輩等立場の弱い相

手には強気。本編では銀子となった拓と尊を陵辱していた。

篠原 拓(しのはら たく) 21 歳 4 年 陸上部部員

無邪気で明るい。本編で銀色の液体で全身を染められた銀子となった。

宮田 尊(みやた たける) 21 歳 4 年 陸上部部員

人の気持ちを考える。拓を助けようと動くが、自身も銀子にさせられた。

## 策略

人でごった返している駅の階段で誰かに肩を押され転倒した拍子に、腰をひねってしまった。最近人とぶつかることがよくある。自分の注意が散漫となっているのだろうか。陸上のコーチをしているのに情けない。

その腰の違和感が消えないことを、婚約者の雪に話をすると、雪の父がいい店を知っているとのことで、そこに行くことにした。

2人の結婚に反対している雪の父、しかし、その割には翼に対して頻繁にメッセージを送ってきたり、飲みに誘ってきたりする。自分の何かを試しているのだろうか？今回も親切にマッサージ店を紹介してくれたり、翼は雪の父親のことをうまくつかめないうでいた。

紹介された店へ向かう途中、通りの角で足が止まる。

店の前に、全身を銀色に染めた男がダブルピースをして立っていた。人形のように動かないが、満面の笑みを浮かべており、その違和感はその空間を支配している。

視線を合わせないようにして、息を整え、店の扉を押す。店内は外とは別の世界だった。

独特の香りと柔らかな灯りに包まれ、緊張が少しずつほどけていく。カウンターの奥から現れた店主は、あたたかな笑顔で迎え入れてくれた。

「どうぞ、こちらへ」

その声に促され、ようやく身体の力が抜ける。言われた通り、紙製のTバック

を履くと、うつ伏せになってベッドに寝る。

仕事のこと、結婚のこと、体のこと等悩みを聞きだしてくる店長に話をしながら、ベッドの穴越しにみるタブレットの映像、独特の香り、そして音楽に翼は飲み込まれていった。頼んでいないオイルマッサージに快楽を感じ、気づいた時には精子を吹き上げていた。

それから頻繁にそのマッサージ店に通った。行ってはいけないという理性がどうしても自分を止めることはできなかった。最初はペニスを、そして乳首やアナルのマッサージも始まり、相手は男だというのはまっていった。終いには店長の本堂にアナルをほられ、喘ぐようになった。

雪の父はここがそういう店だとは思っていないだろう。まさか娘の彼氏がこんなことをしているなんて…………。

じゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷじゅぷ…………。

「ちゃんとディルドを入れているね。パイパンにもして、これじゃあ彼女とセックスできないんじゃないかい？」

「ああ…うう…あ…彼女のことは…言わないで……ください……うああ…………」

「さあ、翼私のペニスの上でいつものように腰をふるんだ」

「はい…………本堂さん…………」

翼はゆっくりと本堂のペニスを飲み込んでいくと、腰をふり、その刺激を楽しみだす。